

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
330016	XZY3330016	2	前期	国際学部国際文化学科	専門	選択必修	2年
				国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択必修	2年
授業科目	担当教員			情報文化学部情報文化学科	専門	選択必修	3年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	×	×	×
日米関係論	中村 起一郎						

授業目的	1. 基礎知識の定着 2. 基礎知識の活用 3. 基礎知識の発展
------	--

20 世紀において長く「超大国」として君臨したアメリカは、かつてのような影響力は失われつつあるが、依然として強大な軍事力と経済力を有し、独特の外交理念をふりかざす大国であることに変わりはない。世界の主要国は、アメリカとどのように付きあうかにいつも頭を悩ませてきた。もちろん日本もその国の一つだ。時に積極的に、時に苦渋の決断を迫られながら、いくつもの選択が積み重なって現在の日米関係が作られている。

この講義では、現在の日本外交の基軸となっている日米の同盟関係がどのように形成されてきたのか、主に政府レベルの政策決定過程に焦点を当てながら分析する。高校時代の日本史、世界史、大学で学んだ日本政治や国際政治などの知識を利用しながら、日米関係が日本と世界にとってどのような意味を持っているのかを考えたい。

各回毎の授業内容

第1回

【授】イントロダクション アメリカは衰退しているのか
【前・後】授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと

第2回

【授】20世紀前半の東アジア秩序と日米関係(1) 日露戦争と満州権益
【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第3回

【授】20 世紀前半の東アジア秩序と日米関係（2） ワシントン体制
【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第4回

【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第5回

【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第6回

【授】20 世紀前半の東アジア秩序と日米関係（5） 終戦と占領
【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第7回

【授】冷戦と日米関係（１） 冷戦のはじまりと日米安保条約
【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第8回

【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							80
小テスト・授業内レポート							10
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							10
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

定期試験の評価を基本とするが、授業内レポートや授業への参加などの要素を加味して、成績をつける。

教科書参考書

教科書は特に指定しない。参考文献は講義中に適宜紹介するが、日本外交の流れを追うのに有用な概説書として、次のものを挙げておく。

五百旗頭真・編『日米關係史』有斐閣、2008年

五百旗頭真・編『新版 戦後日本外交史』有斐閣

井上寿一『日本外交史講義』岩波書店、2003年

受講に当たっての留意事項

日本政治史、国際政治学、国際政治史、アメリカ史概説を受講済または受講中であることが望ましい。私語は厳禁。質問は授業中でも授業の前後でも歓迎します。

學習到達目標

日本外交における日米同盟の効用と制約について、多面的に考えられるようにする。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習